

1月の銅マーケットレポート及び2月の見通し(下)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎氏



予想レンジ

LMEセツル	4300-4700ドル	傘	弱い
建値	550-620円	傘	弱い
為替	117~122円 (1か月間TTM)	傘	円高

※平成28年2月19日付の記事の続です。

【住宅着工数】

- ・平成27年12月の住宅着工戸数は75,452戸で、前年同月比で1.3%減となった。また、季節調整済年率換算値では86.0万戸(前月比2.2%減)となった。
- ・利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で貸家が増、持家、分譲住宅が減となった。季節調整値についても、前月比で貸家が増、持家、分譲住宅が減となった。
- ・住宅着工の動向については、全体として平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響からの持ち直しが続いている。
- ・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

(持家)

前年同月比では8か月ぶりの減少(前年同月比5.4%減、季節調整値の前月比では5.1%減)。

(貸家)

前年同月比では2か月連続の増加(前年同月比3.9%増、季節調整値の前月比では1.4%増)。

(分譲住宅)

前年同月比では2か月ぶりの減少(前年同月比3.5%減、季節調整値の前月比では6.1%減)。

(分譲マンション)

前年同月比では4か月連続の減少(前年同月比13.5%減)。

(分譲一戸建住宅)

前年同月比では2か月連続の増加(前年同月比3.9%増)。

【伸銅品生産】

伸銅品生産 前年比-7.9%の6万610t 10か月連続マイナス

内需 5万892t -6.2% 14か月連続マイナス

輸出 9718t -16.3% 9か月連続マイナス

銅条 1万8222t -13.1% 8か月連続マイナス

黄銅棒1万4958t +1.8% 2か月連続プラス

底入れの兆し?

【電線】

前年比-2.6%の5万8400t

うち 国内 -0.6% 輸出が -63.7%。

通信 +10.1%、電力 -8.3% 電気機械 -1.7% 自動車 +0.8%

建設電販+2.3% その他内需-11.5%

【輸出】

電気銅輸出が前年比-13.8%の2万8488t。

鋼スクラップは-28.4%の2万1247t。

【輸入】

電気銅が+117.9%の6569t。

スクラップは+18.9%の6572t。

【見通し】

・自動車は生産が2か月ぶり減少の-2.3%。1月の国内販売台数が前年比+0.2%

生産が2か月振りマイナス、販売が4か月連続プラス。

生産が再び減少となった。販売の方が微増ではあるが4か月連続プラスに。

ただ増加の幅が縮小しており注視が必要。

・住宅着工の動向については、全体として平成26年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響からの持ち直しが続いている。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

・伸銅品 10か月連続マイナスの前年比-7.9%。

需要の多い銅条が、8か月連続マイナス。黄銅棒が2か月連続プラス、輸出も前月に続き減少が続く9か月連続二けたマイナスの-17.9パーセント。

黄銅棒が2か月連続でプラスに転じており今後の回復が望まれる。

・電線 輸出が7か月連続二桁減少。内需も減少

・銅輸出は生産減少による国内玉の不足から地金、スクラップ共に内需の発生難を受けて減少した。

・銅輸入は、生産減少による国内玉の不足から地金、スクラップ共に内需の発生難や一時的な円高を受けて増加した。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は、銅建値が60万台に載った事から

一次問屋への売り込みはあった。ただ円高をうけて電気銅を多く輸入しておりそれが使用されるまでメーカーの買い気は薄く今月内は需給は緩いのではないか。

【価格・為替予想】

今月は、春節明けの中国動向と原油の生産調整問題に左右される。

春節明けの中国の動向に関しては、上海株がデッドラインと言われた3500を大きく下回る2700付近で推移しているにも関わらず、有効な対策を未だ打ててないのが現状。

新たな対策が出る可能もとぼしく良くて現状維持ではないか？

原油減産問題に関しては、採算ラインと言われる40ドルを大きく下回る30ドル近辺で推移しており OPEC 非OPEC ロシアなどの減産合意が取り喘げられるも、サウジとイランの国交断絶が修復する見込みもなく、今月中の減産合意はないのではないかと？

それらを踏まえた2月の銅価格は、中国が新たな株価対策などを行い、原油の減産合意が行われた場合、1月高値の一段高4700ドルを予測。いずれかの場合は4500ドル。

下値はいずれの条件も達成できなかった場合1月もう一段安値の4300ドル。

為替は、ECBも追加金融緩和に関しては日本ほど積極的でない事。人民元流出に関して案の対策もないことが考えられる。

それらを踏まえ予測は

上値はECBが追加禁輸緩和をした場合新興国からの資金吸い上げに伴う対ユーロでの円高や人民元の流出加速からの117円台を予測。下値は金融緩和を行わず、人民元流出対策を行った場合122円台。

銅建値に関しては550-620円程度と予測している。

銅・非鉄金属屑・電線屑・ナゲット加工

ISO 14001 認証取得

新和金属株式会社

代表取締役 岩本 澁地

〒581-0076 大阪府八尾市南久宝寺1丁目34番1号
電話072-990-2828 FAX072-990-2885
E-mail : info@shinwakinzoku.jp
URL : http://www.shinwakinzoku.jp



PV EXPO 2016 ~第9回 [国際] 太陽電池展~東京ビッグサイトで 3月2日から 同時開催 FC EXPO2016 第12回 国際水素・燃料電池展

リード エグジビション ジャパン株式会社 (本社・東京都新宿区、代表取締役社長・石積 忠夫) は17日、3月2日(水)から4日(金)までの3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で「FC EXPO 2016 ~第12回 国際水素・燃料電池展~」および「PV EXPO 2016 ~第9回 国際太陽電池展~」を開催することを発表した。「FC EXPO 2016」および「PV EXPO 2016」は、新エネルギーに関連する9つの展示会を総称した「第12回 スマートエネルギー Week 2016」内での開催となる。

再生可能エネルギーの本命として普及が進む太陽光発電。太陽電池の発電効率はさらに高まるとともに、技術革新によるコスト削減や製造プロセスの効率化も大きく進んでいる。「PV EXPO 2016 ~第9回 国際太陽電池展~」では、太陽電池だけでなく、太陽電池/太陽光発電システムの研究開発・製造に必要な最新技術、最先端の製造設備・部品材料が多数出展する予定である。

また同時開催として、「FC EXPO 2016 ~第12回 国際水素・燃料電池展~」が開催される。究極のエコカーとして注目が集まる燃料電池自動車 (FCV) の市販化を皮切りに、インフラ整備・研究開発が進む水素・燃料電池市場。現

在、日本各地で水素ステーションの設置や設置計画が進んでおり、今後はFCVの普及が大きく拡大することが期待されている。「FC EXPO 2016 ~第12回 国際水素・燃料電池展~」では、水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置、燃料電池システムが一堂に集結する。

また同会場では、第7回太陽光発電システム施工展、第7回国際二次電池展「バッテリージャパン」、第6回エコハウス&エコビルディング EXPO、第6回国際スマートグリッドEXPO、第4回国際風力発電展「WIND EXPO2016」、第2回電力自由化EXPO、第1回国際バイオマス発電展なども同時開催され、様々な企業や研究団体などが参加予定である。

タイスパーク 電線

スパーク対策電線 **特許出願中**



「安心・安全を追求する」
行田電線のこだわりが、
電源コードのスパークによる
電気火災・火傷事故を
防止するタイスパーク電線を
開発しました。

ここが丈夫

- ① スパークによる熱を絶縁層が吸収し、発火を防ぐ特殊設計。
- ② 導線を溶断したとき発生するスパーク火炎に対する保護構造。

タイスパーク電線株式会社

行田電線株式会社

http://www.yukita.co.jp/

本社 大阪府堺市東区吉布1丁目1番11号 電話 072-261-1111
支店 東京都中央区新富1丁目1番15号 電話 03-5561-3333
支店 東京都港区西新橋7丁目1番15号 電話 03-5561-3333
支店 東京都港区西新橋7丁目1番15号 電話 03-5561-3333